



2019年10月23日

各位

会社名 株式会社イントラスト
代表者名 代表取締役社長 桑原 豊
(コード番号: 7191 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 太田博之
(TEL:03-5213-0250)

2020年3月期第2四半期(累計)業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の第2四半期(累計)業績予想及び通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,666	百万円 410	百万円 410	百万円 268	円 銭 12.06
今回修正予想(B)	1,712	499	502	335	15.13
増減額(B-A)	46	89	92	67	—
増減率(%)	2.8	21.9	22.6	25.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	1,506	358	358	236	10.68

2. 2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,500	百万円 925	百万円 925	百万円 615	円 銭 27.64
今回修正予想(B)	3,550	1,015	1,015	680	30.61
増減額(B-A)	50	90	90	65	—
増減率(%)	1.4	9.7	9.7	10.6	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	3,136	842	840	564	25.44

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、保証事業につきましては、医療費用保証が想定を上回って推移したほか、家賃債務保証についても新規契約が順調に推移したことを受け、保証事業の売上高は対計画比 6.5%増の 851 百万円となる見込であります。また、ソリューション事業につきましても、Doc-on サービス及び保険デスクサービスにおいて進捗が遅れが見られたものの、主力の C&O サービスが概ね想定通りの結果となり、ソリューション事業の売上高は、対計画比 0.6%減の 860 百万円となる見込であります。損益面につきましては、一部採用が下期にずれ込んだ影響により結果として人件費が抑制されたこと、弁護士移管事案が想定よりも少なく推移したことを受け法対応費用及び貸倒費用が抑制されたことを受け、売上高の増加の影響と合わせて、営業利益、経常利益及び四半期純利益についても、当初計画を上回る見込みとなりました。

また、通期業績予想に関しましては、上期の進捗を反映した結果、保証事業の売上高は対計画比 3.1%増の 1,710 百万円、ソリューション事業の売上高は、対計画比 0.1%減の 1,840 百万円となる見込みであります。また、損益面につきましても、営業利益、経常利益及び当期純利益について、当初計画を上回る見込みとなりました。

(注)本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上